

浦幌町立博物館だより

2025(令和7)年9月号

編集・発行: 浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



9月23日
(火・祝)

浦幌に博物館がある意味を問う



8月30日に開催された社会教育全国集会博物館分科会での浦幌町立博物館からの報告の表紙スライド。上田教育長、持田学芸員のほか、放課後こども教室を担当する杉浦由記コーディネータ(十勝うらほろ楽会)の3名がオンラインで参加し、主として地域教育の面から、地域に博物館がある意味を問いかけました。

社会教育全国集会博物館分科会

8月30日(土)、社会教育全国集会博物館分科会がオンラインで開催されました。今年の社会教育全国集会では、浦幌の特色ある教育として「うらほろスタイル」がとりあげられていたことから、博物館分科会でも当館に報告の要請がありました。当館からは教育長以下3名の連名で登壇し、当館のこれまでの地域教育との関わり、現状、課題などを中心に報告を行いました。

当館は従来、町の教育施策との関わり方が消極的で、その点は今後、大きく見直していく必要を感じています。

町が博物館を抱える意味を考える

博物館には、収集・保存、調査・研究、展示・教育といった機能があります。こうした機能を発揮して独自の博物館事業を実施することが大切ないっぽう、その機能が町の施策や教育へ有機的に結びついているのかについて、これまであまり考慮してきていませんでした。

浦幌のような小さな町が博物館を抱えている意味は?いつまで博物館にお金や人を注ぎ込めるのか?いま、その意義が問われています。23日に開催する「博物館の将来を考えるシンポジウム」では、その点を議論する予定です。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

GAME BOY



「1989年、子ども達へのプレゼントとして購入した。新製品が登場したら注文してすぐに購入した」とのこと。初期の電子ゲームは、すでに民俗資料になっています。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK (注目の本)

図書館から

しらべるちがいのずかん



文・おかべ たかし 写真・やまだ たかし
2021年 東京書籍発行

「卵」と「玉子」は何がちがうの? 「からいシトウ」と「からくないシトウ」ってどうすれば見分けられるの? 知っているようで意外と知らない、似ているものの「ちがい」を、豊富な写真を交えつつ推理していく作品です。

特に最初の章は、色々な実験を通して「ちがい」を明らかにしていく形式のため、お子さんも大人の方もぜひ一緒に推理しながら「ちがい」を探してみてください!

【配架場所】

031/1

(児童書・しらべもの)

(浦幌町立図書館 司書 金澤明香里)



8月の博物館お知らせ

企画展

企画展 上田式豆播器の世界

7月26日（土）



9月28日（日）

10:00～18:00

場所:博物館特別展示ホール

後援：道東3管内博物館施設等連絡協議会・
十勝管内博物館学芸職員等協議会



道南の今金町で開発され、全道へ普及した上田式豆播器。北海道中の博物館に収蔵されているにも関わらず、民具や農機の事典にも登場しない、不思議な農機具です。

北海道固有の農機具「上田式」を道内各地から集めて展示するとともに、博物館が同じような民具を多数集めることの意味や課題をご紹介します。

企画展関連シンポジウム

上田式豆播器にみる 民俗資料収集の意義と課題

日時：8月30日（土）

13:30～17:00

場所：博物館2階 視聴覚ホール

入場無料・申し込み不要

講演：上田式豆播器について

講師：山際秀紀（北海道博物館学芸員）

講演：民俗資料収集の課題

講師：宇仁義和（東京農業大学教授）

報告：除籍を含む資料収集基準の制定について

講師：持田 誠（当館学芸員）

上田式豆播器研究の第一人者である山際氏から上田式の特徴や歴史について解説。また、昨今の収蔵庫問題や資料廃棄などの実情を宇仁氏から解説。当館で検討が進んでいる資料収集基準についても紹介します。

移動博物館

オオアワダチソウをどんどん抜くぞ！

8月16日（土） 10:30～12:00

場所：豊北原生花園

集合：浦幌町立博物館（9:30出発）

定員：なし ※



※自家用車の無い方は、博物館へお申し込み下さい。
※お車の方はスコップ、軍手ご持参ください。

もともとは海岸草原になかった外来植物オオアワダチソウを根こそぎ抜き取り、原生花園の植生を保全します。

博物館実習

博物館実習生発表会

日時：8月23日（土）

13:30～14:30

講師：博物館実習生

入場無料・申し込み不要



博物館実習に來ている大学生に、自分の研究や学んでいることを紹介してもらいます。

入館料：無料

開館時間：10:00～18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員：1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

8月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日：月曜日・月末資料整理日

8月29日（金）は、月末資料整理
日のために休館します。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です！

【運賃】

帯広～浦幌間 1380円（片道）

釧路～浦幌間 1800円（片道）

4月1日から運賃が改定されました



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間半

道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ：電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1（図書館併設・役場となり）

E-mail: info@museum-urahoro.jp / <https://museum-urahoro.jp>